

オバマの広島訪問について

今回のオバマ訪問についてマスコミは歓迎ムードを作り出したし、安倍はその失敗を覆い隠すためサミットと広島開催を最大限に利用しようとしたし、その意味では成功した。

残念ながら、日本の戦争責任、なかんずくアジア侵略を批判、反省しながら、アメリカの原爆投下の誤りを指摘して反核運動を続けその軸になって、「核と人類は共存できない」と訴えてきた、多くの指導者が鬼籍にはいつてしまった。

そのため多くの被爆者が有名無名を問はず、オバマの広島訪問を歓迎、ないし好意をもって対処していた、例えば「はだしのゲン」の中沢啓治夫人は中沢が生きていたらオバマ来広を喜び、「謝罪してほしい」と思っただろう、と談話しているが、作品の中で原爆投下をナチのホロコトと同じと言っていた。

しかし他の被爆者や遺族はやはりマスコミが作りだす歓迎ムードの誘導に乗せられている。式典の後の被爆者坪井との握手も私には空々しく感じられたが、直後に抱擁し涙を流していた森重昭とゆう人はアマチュアの歴史家で被爆死をした米軍捕虜の研究をしていた人らしいが、一般には知られておらず、一部の米空軍関係者しか知られていないようだ。最初が当時の米軍捕虜を式典に招くとゆう構想だったらしいが、前記森氏が被爆者であったこともあり、登場したようだが、安倍の配慮かアメリカ側の要求かはわからないが、謝罪を拒むアメリカ側をどうしても、広島に連れていきかけた安倍の意向が伺われる。

私も複数のマスコミ取材を受けたが、そのなかで述べたのは、戦争終結のための原爆使用説は、当時の敗戦必死の日本の状態を見ればウソであることは明らかであり、本当のことはトルーマン大統領が戦後政治を見据えた使用であった。

しかしこの使用は「核」の管理が現在でもできないことを考えれば、明らかに人類いや地球に対する「犯罪」であり、未来永劫批判されなければならない。その後「核」を持って世界支配を目論んだ、アメリカ政府の歴代の大統領も同罪に近い。

私はオバマが登場間もなくプラハの核廃絶の声明を知ったとき、オバマは歴代大統領と違い、核廃絶の具体的処置に着手すると歓迎したが、IAEAとゆう五大核保有国を軸にしたダブルスタンダードの核廃絶の障害になる制度を支持したし、レーガン、ゴルバチョフと共調しての核弾頭削減も全く行詰まり、それどころかイスラエルの核保有の黙認、イン・パの核保有を認めて来た。

私は広島の下には、特に爆心近くには無数の骨肉が埋まっており（私が中学生時代、被爆2年後には、あのT字型の相生橋の下の川の中にはまだ骨が散乱していた）米軍最高司令官が謝罪なしにそこを土足で、まして岩国基地で米兵を激励し、オスプレイまで動員して下り立つことは死者に対する冒瀆以外のなにものでもない。先日もある広島の友人と話していたら「トルーマンは悪いがオバマはその時はまだ生まれとらんじゃけん、むしろに戦争責任を問うのと同じで納得できん」といったが、日本人の感覚には、自分の父や親せき、兄が犯したアジアの人々に対する戦争犯罪を、終わったことにしようとする風潮が多いがこうした考えが安倍を生み出し、ヘイトスピーチを生み出している。

ともあれオバマは米日政府の思惑どおり、日米同盟の強化とアベノミクスの失敗を糊塗するために来日したと思って間違いないだろう。

今回のオバマ日程を見れば先述した基地岩国から広島に入り慰霊碑に献花（これも外来者の儀礼的のものでマスコミや一部の評論家が言う哀悼、謝罪ではない）後、原爆資料館の視察が（これは被爆者の多くが一番望んでいたが、それはあの残酷と悲惨を見ればどんな人でも、核の恐ろしさを認めるだろう）わずか10分、模型の地図を見る時間もないぐらいの短時間で被爆者の歓談とやらも屋外でハグし合う程度でまったく素通り、状態であった。声明も具体的なものはなく、彼自身が認めているよう「核のない世界の実現は私の生きているうちは難しい」とは、私のように反核運動を65年以上続けた老人が言うならまだしも、世界最強の大国で最初の原子爆弾を落とした国の、最高の権限を持つ人間の言葉とは思えず、「核廃棄は見込みありません」と正直に告白したとしか思えない

謝罪については、アメリカの世論について云々があるが、先述したように彼らの犯罪を隠蔽させたものであり、それでも最近では、六分四分ぐらいになっており、アメリカン大学のピーター・カズニックのように数十年前からトルーマンの犯罪と告発し、映画監督のオリバー・ストーンや多くの著名人がその意見を支持しているし、オバマ自身がその気になれば謝罪できることである。

核と言えば原発もしかりで、かつてアメリカのアイク大統領が「核の平和利用」を唱えたがそれも原発をはじめとする膨大な軍事産業を輸出させるための「核拡散」であった。

原爆も原発も人類破滅の恐ろしい凶器であり、最初に使用した道義的（私は思わない）責任とゆうなら自ら率先し具体的行動「核」の完全廃棄を行うべきである。

日本の平和憲法のように！

2016、5月27日

原子爆弾被爆者

米澤鐵志

私はオバマ大統領の被爆地広島訪問が、きれいごとで済まされ、安倍のアジア侵略の否定とオバマの世界戦略の忌まわしい同盟が日本のマスコミをはじめ、日本の戦争責任やアメリカの人類に対する犯罪を、歴史から葬り去ろうとする流れが許されないと考えた。